化学科、化学専攻新3ポリシーについて

教務主任 恩田健

WG 徳永信、久下理、安中雅彦、 吉田紀生、小澤弘宣

2020年 3月 27日 13:00~ B314号室

理学部・化学科 3ポリシー

1. 新ディプロマ・ポリシー

教育の目的

参照基準:日本学術会議『大学教育の分野別質保証のための

教育課程編成上の参照基準-化学分野』2019年

学修目標: A-1 ~ D-2 (カリキュラムマップと対応)

2. 新カリキュラム・ポリシー

ディプロマ・ポリシーを達成するために、別表(カリキュラム・マップ)の通り、 教育課程を編成する。

国際理学コース

継続的なカリキュラム見直しの仕組み(内部質保証)

アセスメント・ポリシー

理学部・化学科 3ポリシー

3. 新アドミッション・ポリシー

求める学生像

全学共通、部局固有、国際理学コース

求める学生像と学力3要素との関係

- ①知識•技能
- ② 思考力・判断力・表現力等の能力
- ③ 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

入学者選抜方法との関係

選抜方法に関する別表

一般選抜、専門型選抜、総合型選抜

理学部・化学科 カリキュラムマップ

縦の項目

実践 新しい知見の創出 知識・理解の応用 知識・理解 主体的な学び・協働

横の項目

1学年~4学年

最後の行: アセスメント計画

セルの色分け

基幹教育必修 専攻選択A 専攻選択B 専攻必修 国際コース選択必修 卒業研究

理学部・化学科参照基準と九大DP対応表

縦の項目

参照基準: 日本学術会議『大学教育の分野別質保証のための 教育課程編成上の参照基準-化学分野』2019年

獲得すべき知識と理解①~®

化学の学びを通じて獲得すべき6つの素養と基本的な能力 1)~6)

専門性と市民性を兼備するための教養用教育(1),(2)

横の項目

九州大学の領域と到達目標 (カリキュラムマップの縦の項目の内容)

各化学分野における知識・理解とその応用

主体的な学び・協働

新しい知見の創出(評価・創造)

実践

0. 理学府共通の全文

教育の目標 教育の目的 学府共通の教育

理学府化学専攻(修士)の3ポリシー

1. 新ディプロマ・ポリシー

教育の目的

参照基準: 理学部化学科の参照基準範囲と水準を越え、化学分野における最先端の研究論文、学会発表を理解し、表現するのに必要な知識・能力を保証する。

学修目標

主体的な学び・協働知識・理解の応用

知識・理解 新しい知見の創出

2. 新カリキュラム・ポリシー

本専攻の修士課程では、ディプロマ・ポリシーを達成するために、別表 (カリキュラム・マップ)の通り、教育課程を編成する。

コースワーク

研究指導体制

学位論文審査体制

3. 新アドミッション・ポリシー

求める学生像

入学者選抜方法との関係

理学府化学専攻(博士)の3ポリシー

1. 新ディプロマ・ポリシー

教育の目的

参照基準: 理学部化学科の参照基準範囲と水準を越え、化学分野における最先端の研究論文、学会発表を理解し、表現するのに必要な知識・能力を保証する。

学修目標

主体的な学び・協働知識・理解の応用

知識・理解 新しい知見の創出

2. 新カリキュラム・ポリシー

本専攻の修士課程では、ディプロマ・ポリシーを達成するために、別表 (カリキュラム・マップ)の通り、教育課程を編成する。

コースワーク

研究指導体制

学位論文審査体制

3. 新アドミッション・ポリシー

求める学生像

入学者選抜方法との関係

理学府・化学専攻 FRカリキュラムマップ

縦の項目

Skills and other attributes
Knowledge and understanding
Valuing and quality of mind

領域 学修目標(修士課程) 学修目標(博士課程)

横の項目

修士1、2年生、博士1、2、3年生

セルの色分け

修士課程共通科目修士課程専門科目

博士課程共通科目 研究指導

理学府・化学専攻 ASカリキュラムマップ

縦の項目

Skills and other attributes
Knowledge and understanding
Valuing and quality of mind

領域 学修目標(修士課程) 学修目標(博士課程)

横の項目

修士1、2年生、博士1、2、3年生

セルの色分け

修士課程共通科目修士課程専門科目

博士課程共通科目 研究指導